



長崎っ子の心を見つめる教育週間

本校では、6月30日（月）～7月6日（日）の1週間を「長崎っ子の心を見つめる教育週間」とし、命や自分自身の生活について考える期間としました。取組としては、まず7月1日（火）に生徒総会を行い、生徒会役員を中心に、全校生徒でより良い学校生活のための議論を行いました。体育館の気温が高かったため、熱中症対策として前半を各教室でのリモート会議、後半を体育館での全体討議としました。全体討議では、活発な議論が交わされたとまではいきませんでした。自分たちの手で校則や学校のルールを変えるために「みんなで決める」という経験を積むことができたのではないのでしょうか。7月5日（土）には、土曜授業を行い、各学級で担任による道徳の公開授業のあと、長崎女子短期大学で教授をされている中澤伸元（なかざわのぶもと）先生をお招きし、「子供の自己肯定感を高めるには」というテーマでご講演をいただきました。大変パワフルな講演に、全校生徒、教職員など参加者全員が元気をもらえた講演会でした。

お暑い中、本校まで足を運んでご参加いただきました延べ40名もの地域の皆様、保護者の皆様、本当にありがとうございました。



教室でのリモート会議



体育館での討議



中澤先生講演会の様子



文化面で大快挙

NPO 法人長崎国際文化協会が主催する第63回原爆忌文芸大会と長崎原爆忌平和祈念俳句大会実行委員会が主催する第72回長崎原爆忌平和祈念俳句大会において、本校生徒の俳句や短歌が名誉な賞を多数いただいておりますのでご紹介いたします。

第63回原爆忌文芸大会

ジュニア俳句の部 長崎県知事賞

さん（3年） この平和永遠に誓おう原爆忌

ジュニア短歌の部 長崎新聞社賞

さん（1年） 長崎忌千羽鶴折り戦争が

二度とないよう平和を祈る

第72回長崎原爆忌平和祈念俳句大会

長崎市教育長賞

さん（3年）

祖父と祖母一度も語らぬ原爆忌

長崎如己の会賞

さん（3年）

多彩な紙祈りながら鶴を生む

優良賞

さん（3年）

原爆忌まだ地に残る人影よ